

食品デザインの特徴： 不均一の美



名古屋城



岡山城

1 第46418号 【明治25年3月15日第三種郵便物認可】

岡山市にある実家は80年ほど続く家具店です。子どものころから木製家具の中で育ったため、木の香りが肌触りが好きですね。JR九州の日南線(宮崎県)などを走る列車で自分がデザインした「海幸山幸」は、車体の内外に地元産の油気の強いスギ「鉢肥杉」を使っています。その地域の素材、人、文化、つまり風土を電車に乗せて走らせるというのです。同じく私がデザインした(上高井郡)小布施町のレストラン「花屋」も長野産の木材を使っています。

24年前、福岡市でホテルをデザインしたことがきっかけで、JR九州の電車をデザインするようになりました。鉄道車両に木を使うことには反対の声もありました。コストが高く、メンテナンスも手間がかかるという理由です。日本では戦後、プラスチックの



デザイナー 水戸岡 鋭治さん



「不均一」に本当の豊かさ

ように均一で、耐久性があり、量産性の高いものがないものであるという時代が続いてきました。しかし、かつての日本人は、木材をはじめとする不均一で手入れも大変な素材を使いこなしてきた。手間暇を掛けることで、感性や技術を磨いてきました。利益や効率を追求した結果、経済は豊かになりましたが、一方で、不均一なものを工夫して使う文化も失ったと感じています。

木は、節があったり色が違ったり傷があったりします。不均一な素材をどう使うかがデザインの力

ドーンデザイン研究所(東京都)代表、JR九州デザイン顧問。九州新幹線「つばめ」、特急「かもめ」など多くの独創的な鉄道車両のデザインを手掛けた。鉄道関連デザインの国際的な賞「プルネル賞」受賞。岡山市生まれ。64歳。上高井郡小布施町のレストラン「花屋」で。

千切れない 十割どうづき そばの完成

陰陽五行の星が飛ぶ!!
色よく、粗くても繋がる!





導入した
蕎麦店

どうづき： そばのさと、吉成、道玄（茅野市）
細い繊細さを追求

水萌えそば らいあん はぎわら (佐久市)

太い力強さを追求



水萌えそば



水萌えせいろそば



水萌え手碾きそば

どうづき：うえはら（高松市）

うどん地帯で、滑らかさと軟らかさを追求



みぶ萌えそば： きし野（伊那市）

中太で風味を追及



井上著書展示2019

どうづきを紹介した本 信州大学図書館にて

どうづきを紹介した
初の本(そば学 {柴田書店})

